

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		春野広域農道整備事業			
所管部局	農林水産部	部長名	本山 幸一	予算事業名	○春野広域農道整備事業費
所管部署	耕地課	所属長名	吉岡 謙二	予算事業科目(平成25年度)	010601050194

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け						
施策の大綱	04	地産の環	施策	57	農地の基盤整備	農地災害を防止し、営農活動の利便性と効率性を向上させるために、農道、水路等の整備を行います。 また、地域の共同作業による農業土木施設の維持管理を継続するため、農業者と地域住民が一体となった農地の環境保全活動団体の結成・育成を促進します。
政策	19	大地の恵みを活かす農業の振興				
施策	57	農地の基盤整備				
2 事業の根拠・性格			法定受託事務			
法律・政令・省令						
県条例・規則・要綱等						
市条例・規則・要綱等						
その他(計画、覚書等)	第1次実施計画・新市まちづくり計画					

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民及び一般交通の用に供する者			
意図	どのような状態にしていくのか	車両の円滑な通行と歩行者の安全を確保する。また、第3次緊急輸送道路としての機能の拡充を図る。			
手段	事業実施体制等	業務委託及び請負工事	事業開始年度	平成23年度	
			事業終了年度	平成29年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	車道の改築及び歩道の整備を実施。また、併せて既設橋梁の補強(T-25)や落橋防止工事を実施。			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	補強橋梁数	既設橋梁数に対する補強橋梁数		
	B	車道舗装補修延長	車道舗装補修計画延長に対する舗装補修施工延長		
	C	歩道整備延長	歩道整備計画延長に対する歩道整備延長		

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	補強橋梁数	目標	10橋	9橋	4橋	補強：T25対象11橋、耐震対象12橋（25年度4橋は県営事業にて実施） 歩道整備(改良)対象延長：3,400m	
		実績		10橋(100%)	9橋(100%)			
	B	車道舗装補修延長	目標	(別途事業)	240m	110m		350m
		実績	(200m)	270m(470m)	113m(583m)			
	C	歩道整備延長	目標	(別途事業)	240m	110m		200m
		実績	(310m)	270m(580m)	113m(693m)			
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)		71,334	92,916	62,000		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)		64,200	75,700	55,800	
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	7,134	17,216	6,200	
	翌年度への繰越額 (千円)		13,716					
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	3,600	4,440	4,440		
		正規職員 (千円)	0	3,600	4,440	4,440		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)		0.50	0.60	0.60		
		正規職員 (人)		0.50	0.60	0.60		
		その他 (人)						
	総コスト= ① + ② (千円)		0	74,934	97,356	66,440		
市民1人当たりコスト (円)		0	222	288		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,130	337,875	338,397				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	第1次実施計画及び新市まちづくり計画に記載された事業であり、幹線農道の改築及び歩道未整備区間の歩道整備は、地域からの要望に沿うものである。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	4.0	限られた予算の中で計画的に事業を執行することにより成果は概ね達成できた。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	5.0	計画的に事業発注することにより事業の効率化を図っている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	A		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	幹線農道であり、不特定多数の車両が通行している。また、通学路としての指定もされていることから極めて公共性が高い事業である。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	19.0	総合評価	<input type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	広域農道は地域の幹線道路としての役割を担っており、近年の交通量の増加にともない通行の安全を確保する必要があることから事業の継続を図るとともに、緊急輸送路としての役割を果たす必要がある。
<input type="radio"/> B 経費削減に努め事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--